

第 1 章 大阪都市圏の現況下におけるあいりん地域とあいりん施策

- * 4 つの指標、失業率、単身高齢世帯数、人口密度、一人あたりの居住面積においても、西成区は高い、あるいは低いかで突出した分布を示している。
- * 高齢者人口に占める単身高齢者の割合も、全国自治体のなかで西成区が日本一となっている。
- * あいりん地域を構成する各町丁の人口密度が驚異的な高さを示している。
- * 1975 年からの人口変化では、5 年間で 3,367 人減少し、この 35 年間で最低の人口の 21,874 人となっている。
- * あいりん地域は、2035 年には 3 分の 1 の 7,000 人台の人口に大激減する。男性比は 80% 半ばを推移し、高齢化率は、2020 年には、50% を超える。
- * あいりん施策は、1960 年代に日雇労働者の特徴的な労働生活を、補完的に支援する役割を担って展開されてきた。
- * 現在のあいりん施策の特徴は、第 1 に、日雇労働市場の季節変動と日雇労働者の就労の不安定性に対応した事業である。第 2 の特徴は、日雇労働市場の縮小に伴って発生した問題への対応策である。
- * あいりん施策を支えてきた制度・施設等の社会資源は、あいりん地域の変容に即したものであることが問われている。

表 1-1-1 完全失業率（％）の都道府県別順位の推移

順位	1997年	2000年	2003年	2006年	2009年	2010年
1	沖縄県 6.0	沖縄県 7.9	沖縄県 7.8	沖縄県 7.7	沖縄県 7.5	沖縄県 7.6
2	大阪府 4.7	大阪府 6.7	大阪府 7.6	青森県 5.8	青森県 6.8	大阪府 6.9
3	福岡県 4.4	福岡県 6.2	福岡県 6.8	大阪府 5.7	大阪府 6.6	青森県 6.5
4	京都府 4.1	兵庫県 5.9	青森県 6.5	福岡県 5.6	宮城県 6.4	福岡県 6.0
5	東京都 4.1	北海道 5.5	北海道 6.5	北海道 5.4	高知県 5.9	宮城県 5.8
6	埼玉県 4.0	青森県 5.3	兵庫県 6.4	秋田県 5.0	福岡県 5.8	京都府 5.6
7	高知県 4.0	京都府 5.3	宮城県 6.2	宮城県 4.9	秋田県 5.7	東京都 5.5
8	青森県 3.9	宮城県 5.0	京都府 6.0	兵庫県 4.6	北海道 5.5	兵庫県 5.4
9	兵庫県 3.8	埼玉県 5.0	宮崎県 5.6	京都府 4.5	福島県 5.5	埼玉県 5.4
10	北海道 3.7	東京都 5.0	埼玉県 5.4	高知県 4.5	岩手県 5.5	秋田県 5.3
全 国	3.4	4.7	5.3	4.1	5.1	5.1

資料：総務省統計局 モデル推計による労働力調査都道府県別推計より作成

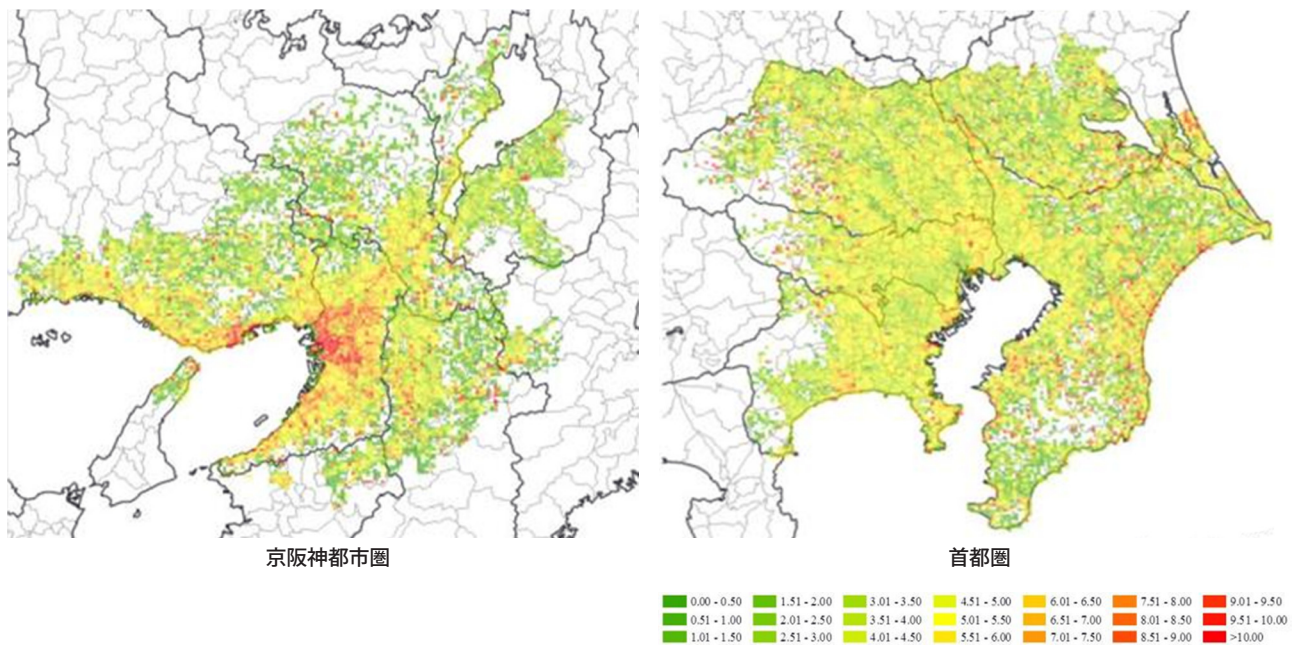


図 1-1-2a 完全失業率の分布（京阪神都市圏・首都圏） 2000 年

資料：2000 年国勢調査地域メッシュ統計（3 次メッシュ）より作成

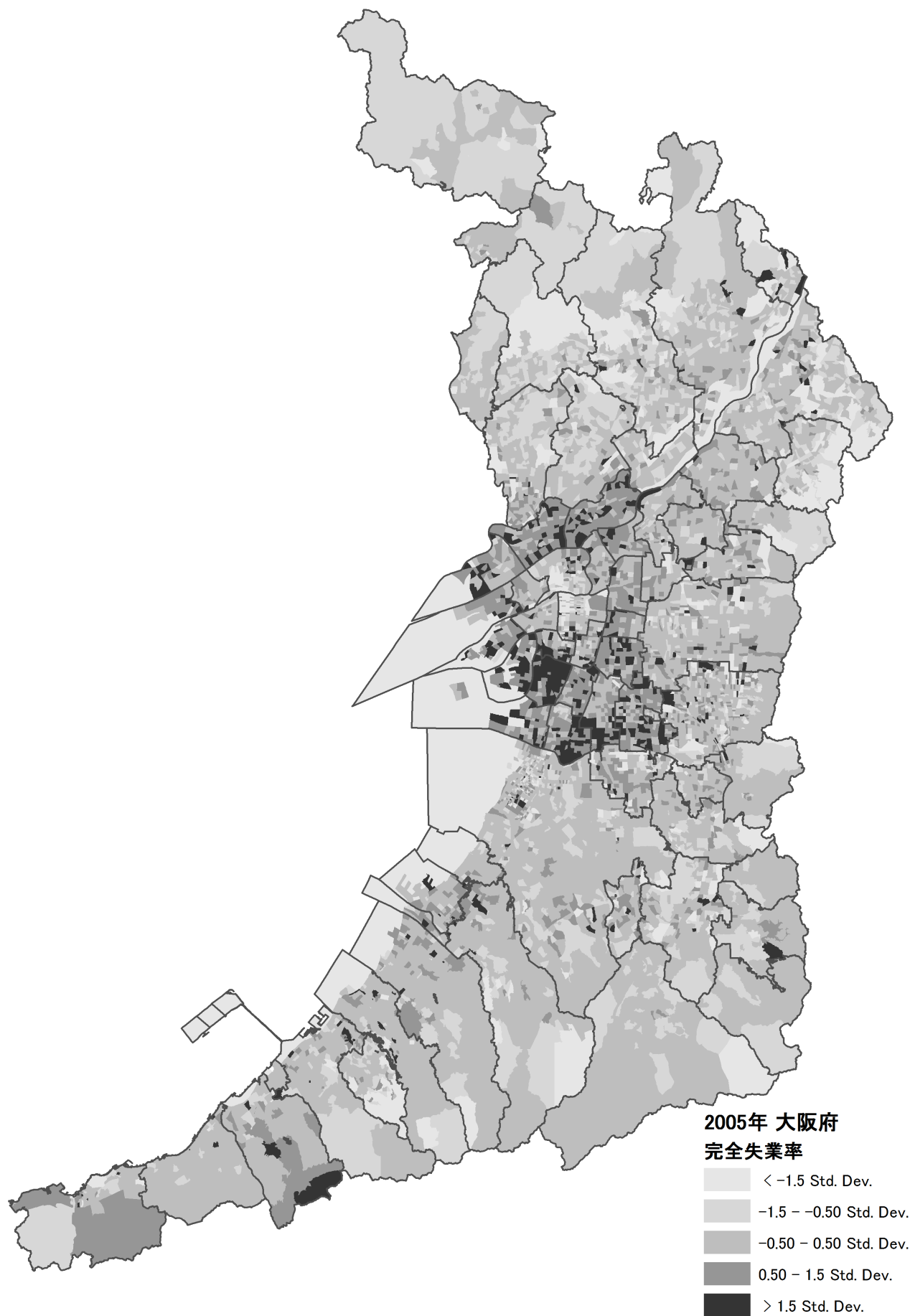


図 1-1-2b 完全失業率の分布（大阪府） 2005 年

資料：2005 年国勢調査地域メッシュ統計（3 次メッシュ）より作成

3 都市圏（東京・名古屋・大阪）における居住者の諸時分布図

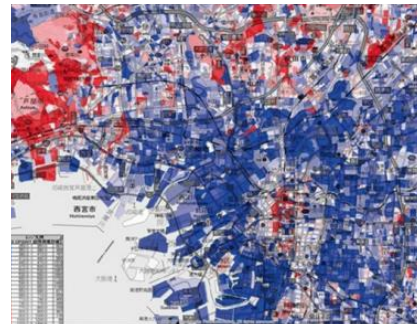
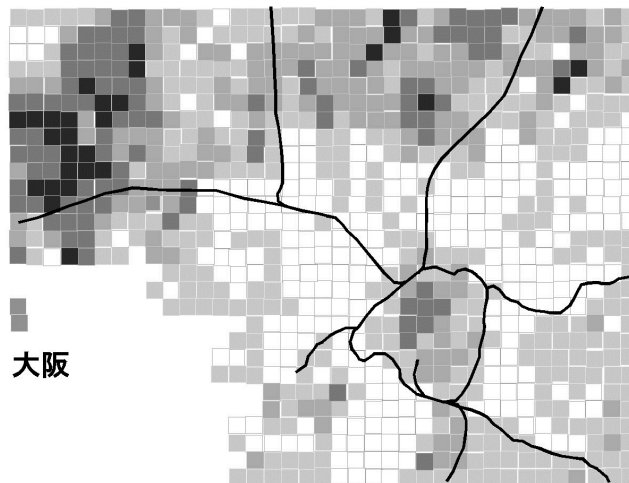


図 1-1-3a 大阪都市圏

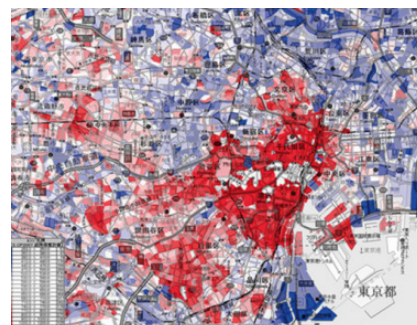
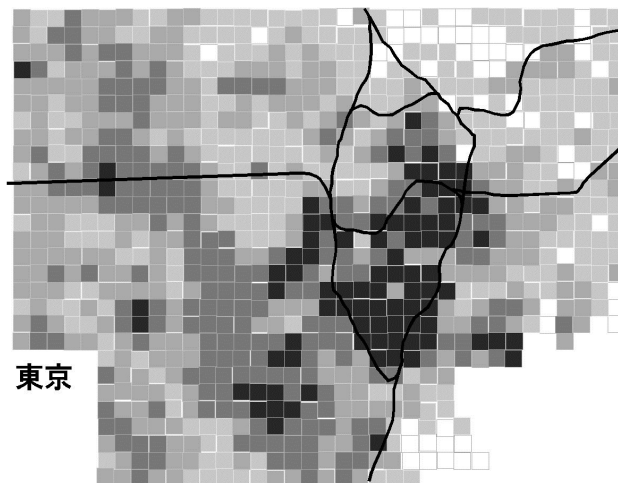


図 1-1-3b 首都圏

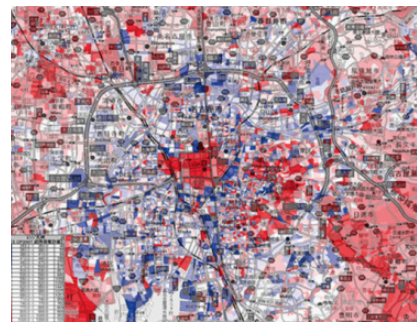
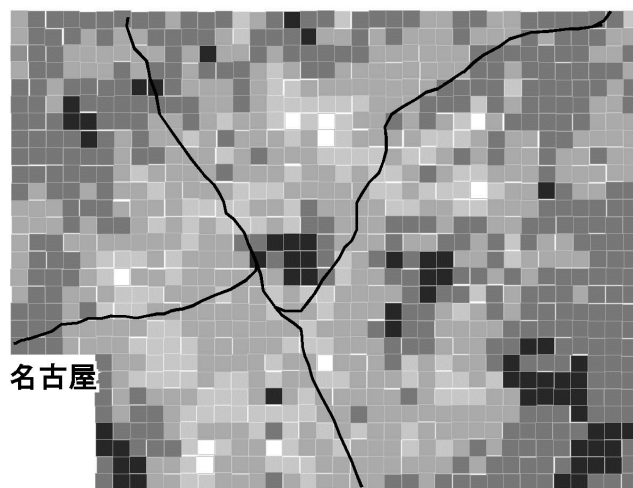


図 1-1-3c 名古屋都市圏

注：高所得は赤色、低所得は青色で描写
資料：伊藤慶史「リッチマンの住む街、プアマンの住む街【1】」、プレジデント 2009 年 6.29 号

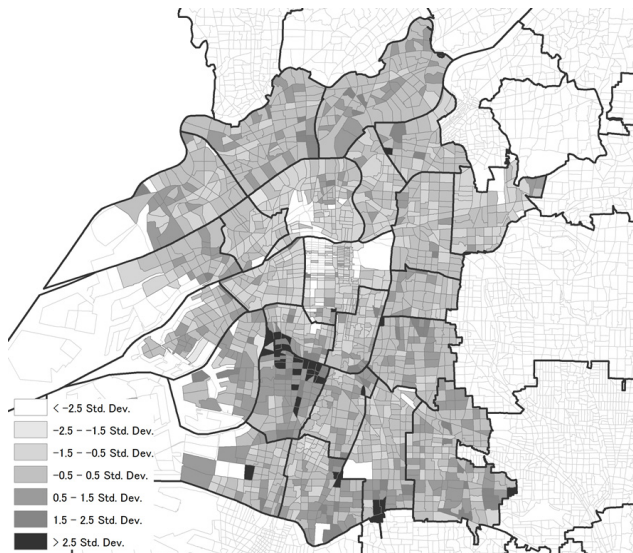


図 1-1-4a 大阪市域における失業率の分布

2005 年

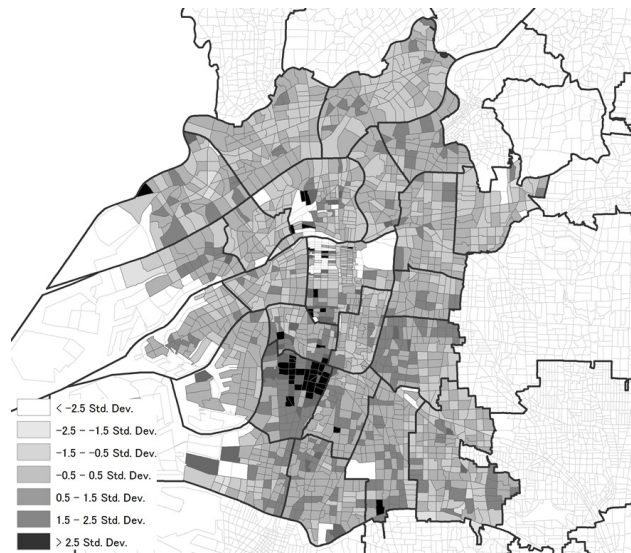


図 1-1-4b 大阪市域における高齢単身世帯の分布

2005 年

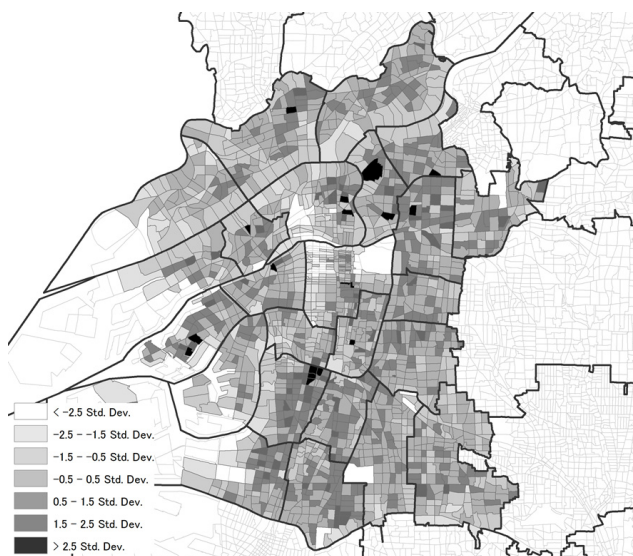


図 1-1-4c 大阪市域における人口密度の分布

2005 年

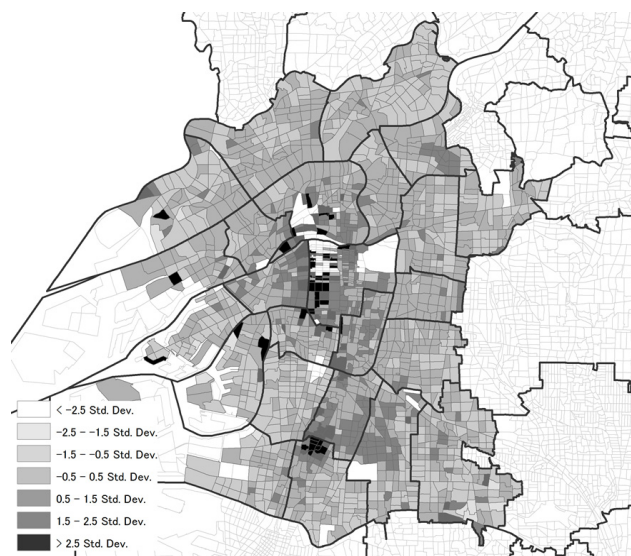


図 1-1-4d 大阪市域における住宅に住む
一般世帯 1 人あたりの居住面積 2005 年

資料：2005 年国勢調査町丁別集計より作成

※ 各種状況の分布を相対的に表現するため、0 を平均として、その偏差を濃淡で表現した。

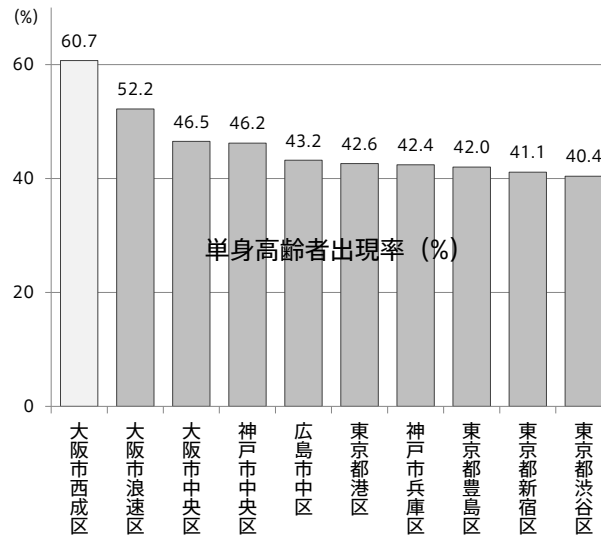


図 1-1-5 単身高齢者出現率
全国市区町村別のランキング 2005 年

注：65 歳以上の高齢者を分母として、
単身高齢者の比率を出現率としている。
資料：2005 年国勢調査より作成

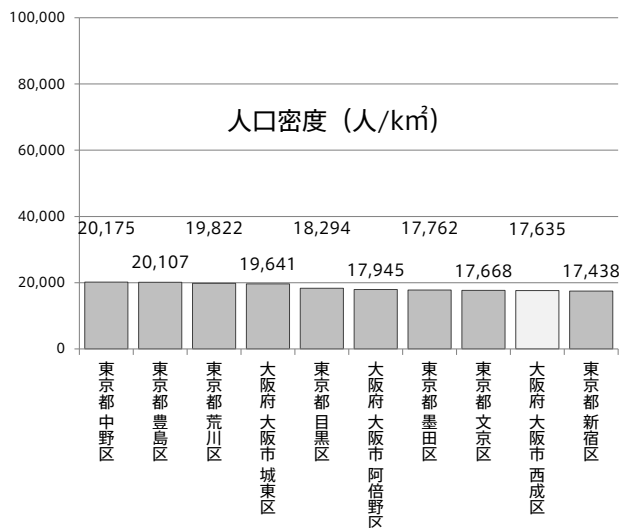


図 1-1-6a 人口密度
全国市区町村別のランキング 2005 年

資料：人口密度ランキングより作成
<http://mnk.uub.jp/rnk/rnk.cgi?T=k&S=m>

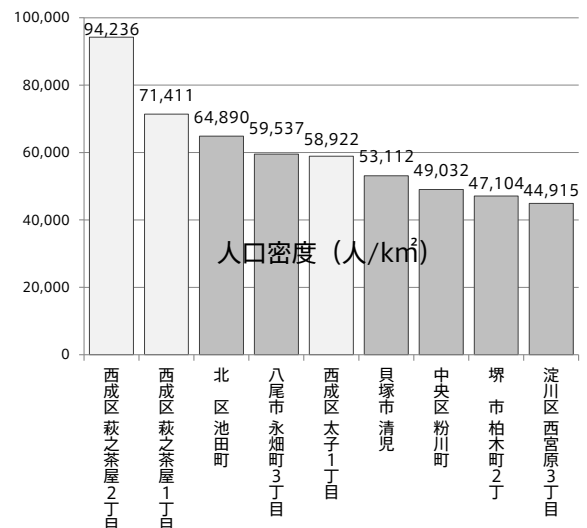


図 1-1-6b 人口密度
大阪府内市区町村別のランキング 2005 年

資料：2005 年国勢調査町丁目データより作成

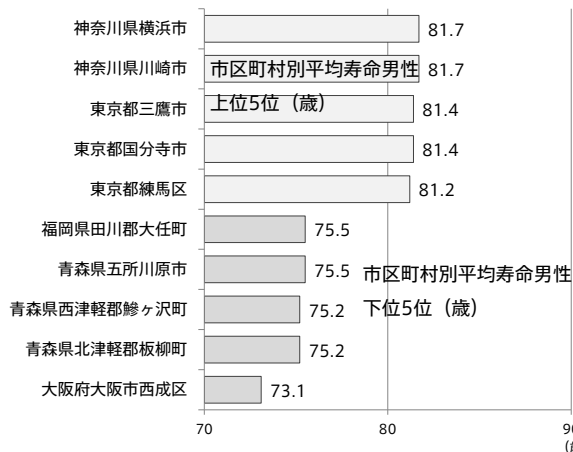


図 1-1-8a 平均寿命 (男性)
全国市区町村別のランキング 2005 年

資料：人口密度ランキングより作成 <http://mnk.uub.jp/rnk/rnk.cgi?T=k&S=m>
※ 全国平均は 79.2 歳

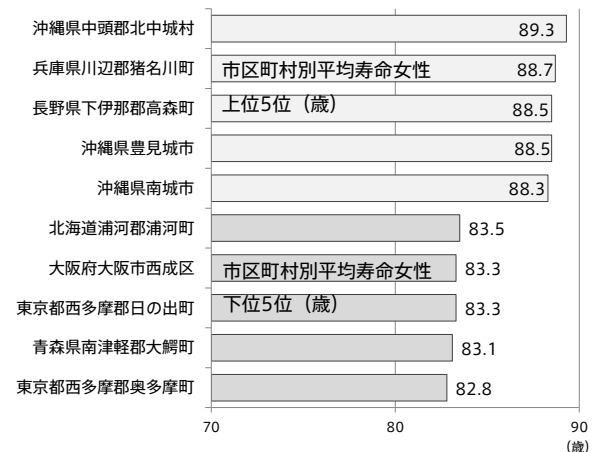


図 1-1-8b 平均寿命 (女性)
全国市区町村別のランキング 2005 年

資料：人口密度ランキングより作成 <http://mnk.uub.jp/rnk/rnk.cgi?T=k&S=m>
※ 全国平均は 86.0 歳

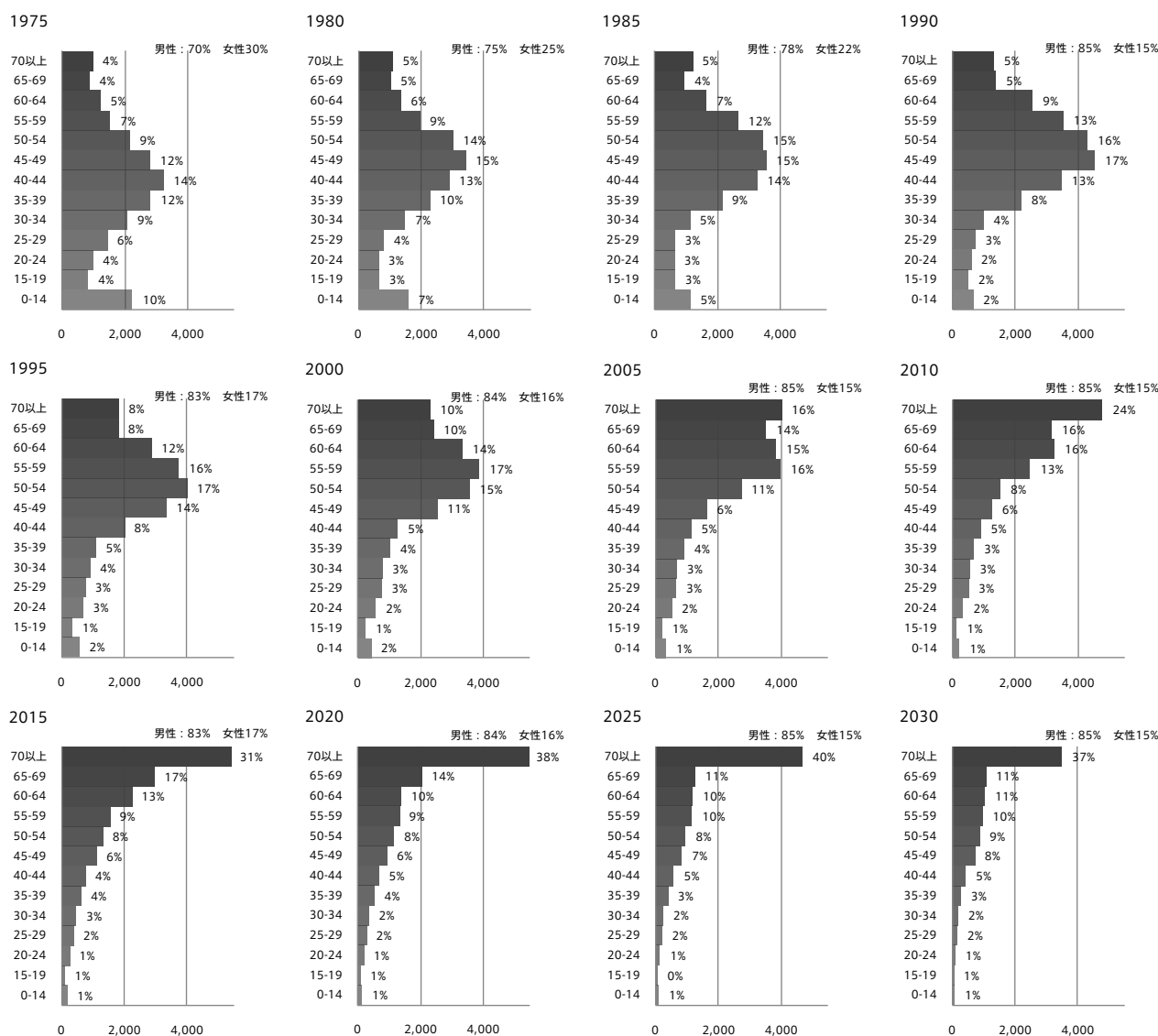


図 1-1-7 あいりん地域 年齢構成別人口推移 1975-2030 年

資料：2005 年までは、大阪市の web サイト http://www.city.osaka.lg.jp/shisei_top/category/1756-4-1-0-0.html 及び「大阪市統計書」より作成
2010 年から 2030 年までは、学習院大学経済学部 鈴木亘教授の推計より作成

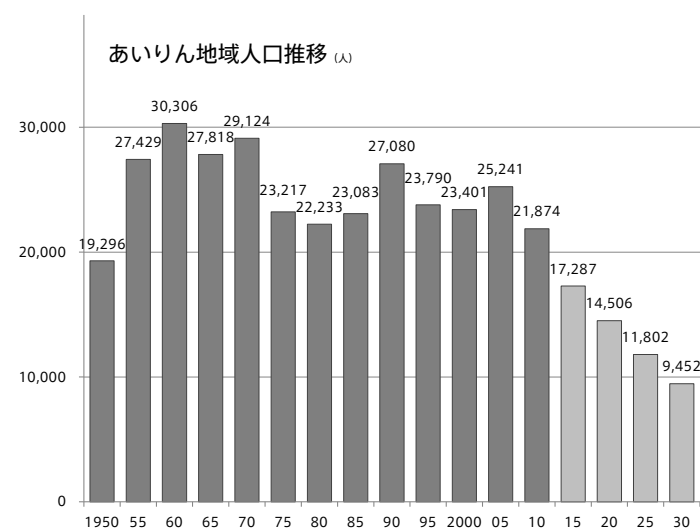


図 1-1-9 あいりん地域の人口推移 1950-2030 年

資料：2005 年までは、大阪市の web サイト http://www.city.osaka.lg.jp/shisei_top/category/1756-4-1-0-0.html 及び「大阪市統計書」より作成
2010 年から 2030 年までは、学習院大学経済学部 鈴木亘教授の推計より作成

表 1-1-10a 西成区の人口推計値の年齢集団別と年齢別シェアの推移 2005-2035 年

西成区	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
推計人口	132,767	125,482	117,233	107,986	98,413	89,285	80,884
総人口指数	100.0	94.5	88.3	81.3	74.1	67.2	60.9
年少人口割合 (%)	7.7%	6.9%	6.1%	5.5%	5.0%	4.9%	4.7%
生産年齢人口割合 (%)	62.9%	58.3%	53.0%	50.9%	51.0%	50.4%	48.8%
老年人口割合 (%)	29.4%	34.9%	40.9%	43.7%	44.0%	44.7%	46.5%
75歳以上人口割合 (%)	10.3%	13.8%	17.6%	21.4%	25.5%	26.7%	26.0%

資料：国立社会保障・人口問題研究所の下記サイトより作成
http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/gaiyo_sanko.pdf

表 1-1-10b 大阪市の人口推計値の年齢集団別と年齢別シェアの推移 2005-2035 年

大阪市	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
推計人口	2,628,811	2,614,324	2,572,321	2,512,084	2,437,148	2,350,039	2,252,217
総人口指数	100.0	99.4	97.9	95.6	92.7	89.4	85.7
年少人口割合 (%)	12.2%	11.6%	10.6%	9.6%	8.9%	8.7%	8.6%
生産年齢人口割合 (%)	67.4%	64.9%	62.4%	62.0%	62.3%	61.3%	59.2%
老年人口割合 (%)	20.4%	23.5%	27.0%	28.4%	28.8%	30.1%	32.2%
75歳以上人口割合 (%)	8.4%	10.8%	13.0%	15.3%	17.7%	18.4%	18.2%

資料：国立社会保障・人口問題研究所の下記サイトより作成
http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/gaiyo_sanko.pdf

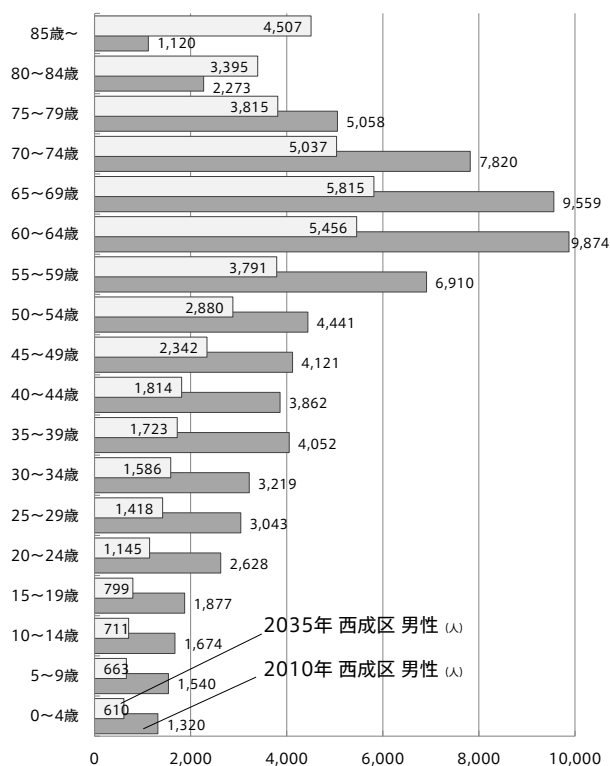


図 1-1-12a 人口予測 西成区（男性） 2005-2035 年

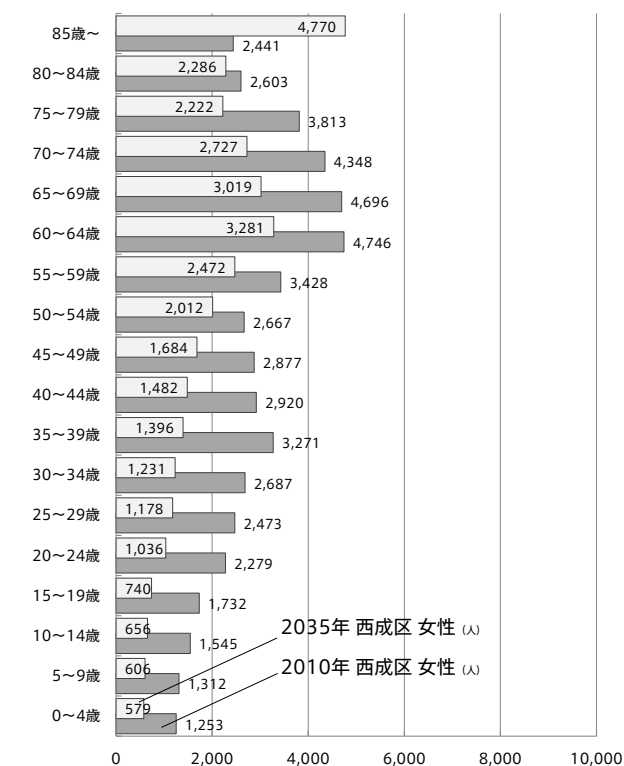


図 1-1-12b 人口予測 西成区（女性） 2005-2035 年

資料：国立社会保障・人口問題研究所の下記サイトより作成
http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/gaiyo_sanko.pdf

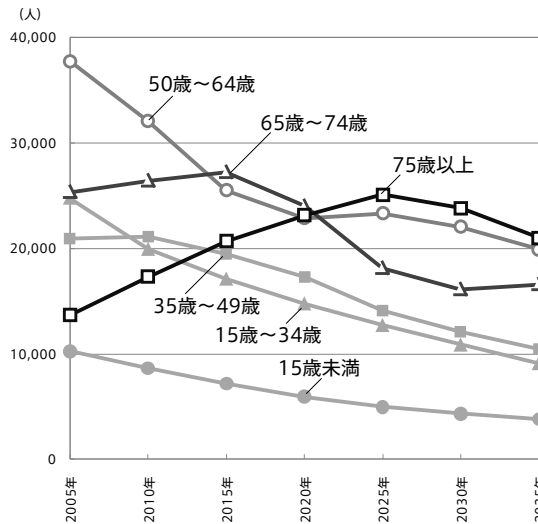


図 1-1-11a 西成区（全体）年齢構成別人口推移と年齢別シェアの推移推計
2005-2035 年

表 1-1-13 あいりん地域 年齢構成別人口推移と年齢別シェアの推移推計 2015-2030 年

あいりん地域全体	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
人数（不詳除く）	24212	19847	17287	14506	11802	9452	7573
男性比	85%	85%	85%	85%	85%	85%	86%
高齢化率	31%	40%	48%	52%	50%	48%	48%

あいりん地域全体	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15歳未満	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
15歳～34歳	9%	8%	7%	6%	5%	5%	5%
35歳～49歳	15%	14%	14%	15%	15%	15%	14%
50歳～64歳	44%	37%	29%	27%	28%	30%	33%
65歳～74歳	24%	29%	32%	31%	25%	22%	24%
75歳以上	7%	11%	16%	21%	26%	26%	24%
高齢化率	31%	40%	48%	52%	50%	48%	48%

資料：学習院大学経済学部 鈴木亘教授の推計より作成

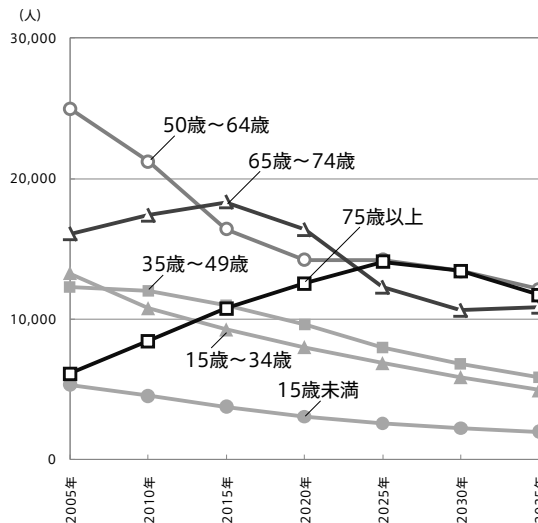


図 1-1-11b 西成区（男性）年齢構成別人口推移と年齢別シェア推移の推計
2005-2035 年

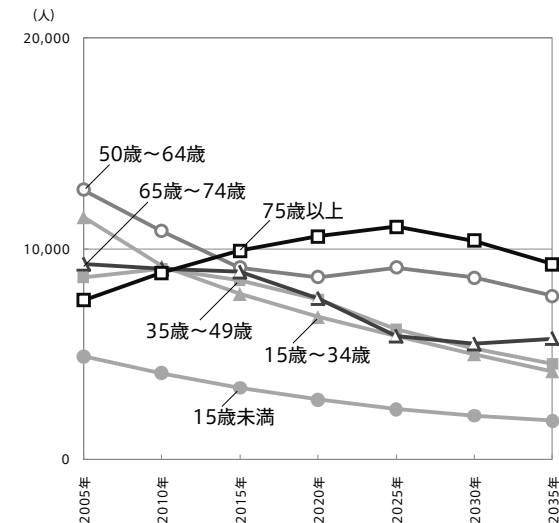


図 1-1-11c 西成区（女性）年齢構成別人口推移と年齢別シェア推移の推計
2005-2035 年

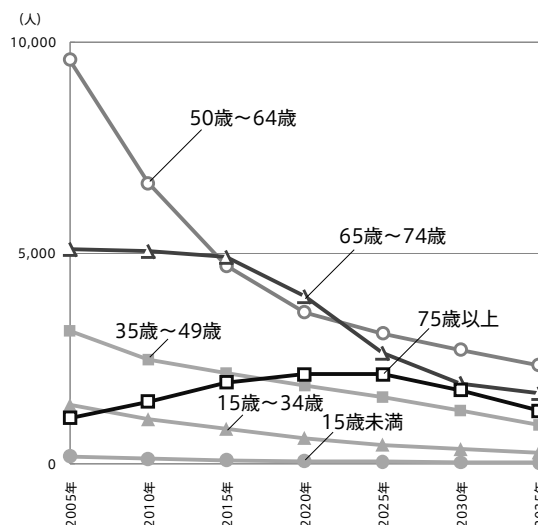


図 1-1-14a あいりん地域（男性）年齢構成別人口推移と年齢別シェア推移の推計
2005-2035 年

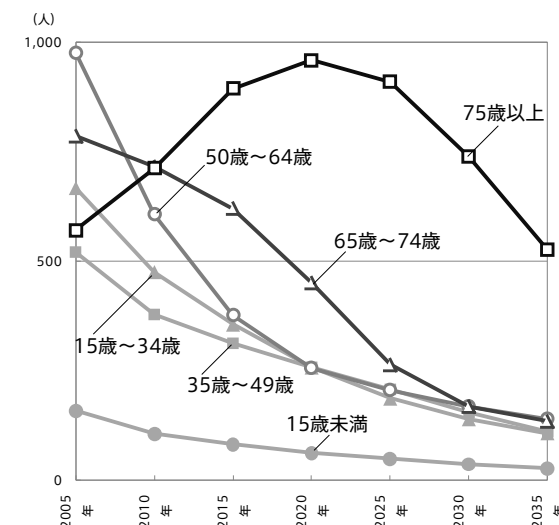


図 1-1-14b あいりん地域（女性）年齢構成別人口推移と年齢別シェア推移の推計
2005-2035 年

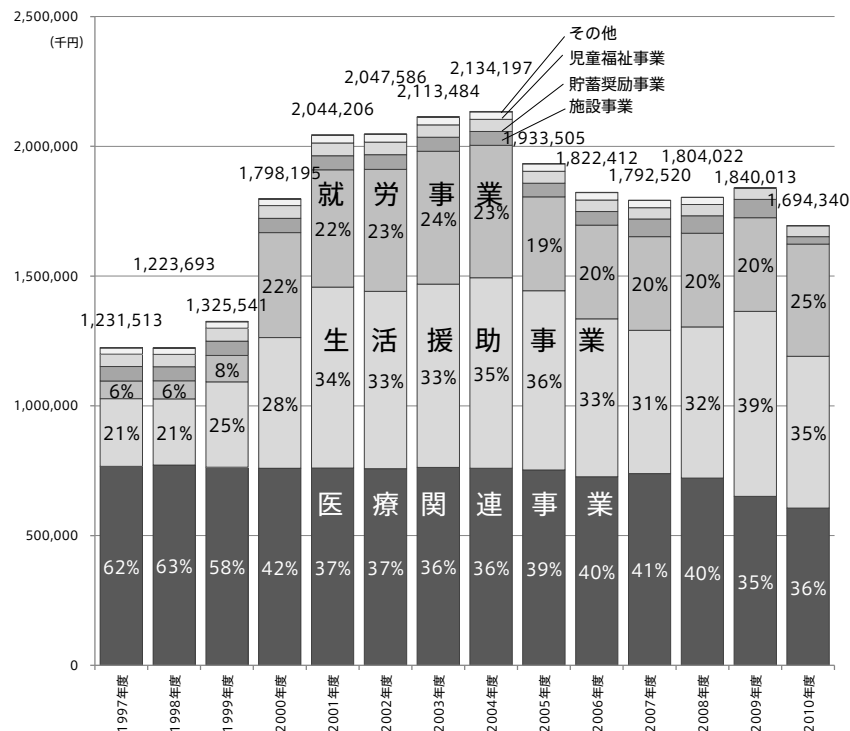


図 1-2-1a あいりん施策予算費目別内訳の推移

※生活保護施設整備費等を除いてグラフ化
資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成

表 1-2-1b あいりん施策予算費目別内訳の推移

単位：千円

年度	生活援助事業		児童福祉事業		就労事業		医療関係運営		施設事業 ※1997年 馬淵生活館整備除く
1997	260,461	21%	23,802	2%	68,452	6%	767,084	62%	55,635
1998	255,232	21%	23,928	2%	69,680	6%	771,539	63%	54,581
1999	328,972	25%	25,011	2%	101,588	8%	763,539	58%	54,870
2000	503,401	28%	25,141	1%	404,370	22%	759,623	42%	54,762
2001	696,809	34%	29,703	1%	452,338	22%	760,289	37%	54,451
2002	683,779	33%	30,457	1%	469,435	23%	757,553	37%	56,612
2003	706,890	33%	29,468	1%	511,690	24%	762,288	36%	54,236
2004	734,703	35%	29,010	1%	509,937	24%	759,183	36%	53,546
2005	690,901	36%	28,841	1%	361,382	19%	752,860	39%	52,403
2006	609,077	33%	28,841	2%	360,909	20%	726,456	40%	52,034
2007	552,258	31%	27,749	2%	360,909	20%	739,090	41%	68,127
2008	582,533	32%	27,394	2%	360,909	20%	721,738	40%	66,985
2009	713,377	39%	0	0%	360,809	20%	650,772	35%	70,800
2010	585,545	35%	0	0%	431,652	25%	605,622	36%	29,262

年度	貯蓄奨励	その他	総計A ※生活保護施設整備費等 を除いた合計	生活保護 施設整備費等	総計B ※生活保護施設整備費等 を含む合計
1997	47,170	1,909	1,231,513	102,653	1,334,166
1998	47,170	1,563	1,223,693	17,000	1,240,693
1999	49,796	1,765	1,325,541	607,372	1,932,913
2000	49,217	1,681	1,798,195	528,172	2,326,367
2001	48,757	1,859	2,044,206	2,015,237	4,059,443
2002	48,479	1,271	2,047,586	693,826	2,741,412
2003	47,652	1,260	2,113,484	1,146,132	3,259,616
2004	46,620	1,198	2,134,197	273,235	2,407,432
2005	46,028	1,090	1,933,505	197,727	2,131,232
2006	44,178	917	1,822,412	22,874	1,845,286
2007	43,489	898	1,792,520	10,476	1,802,996
2008	43,466	997	1,804,022	9,091	1,813,113
2009	43,314	941	1,840,013	8,984	1,848,997
2010	41,310	949	1,694,340	6,430	1,700,770

※ただし％は総計Aを母数とする。
資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成

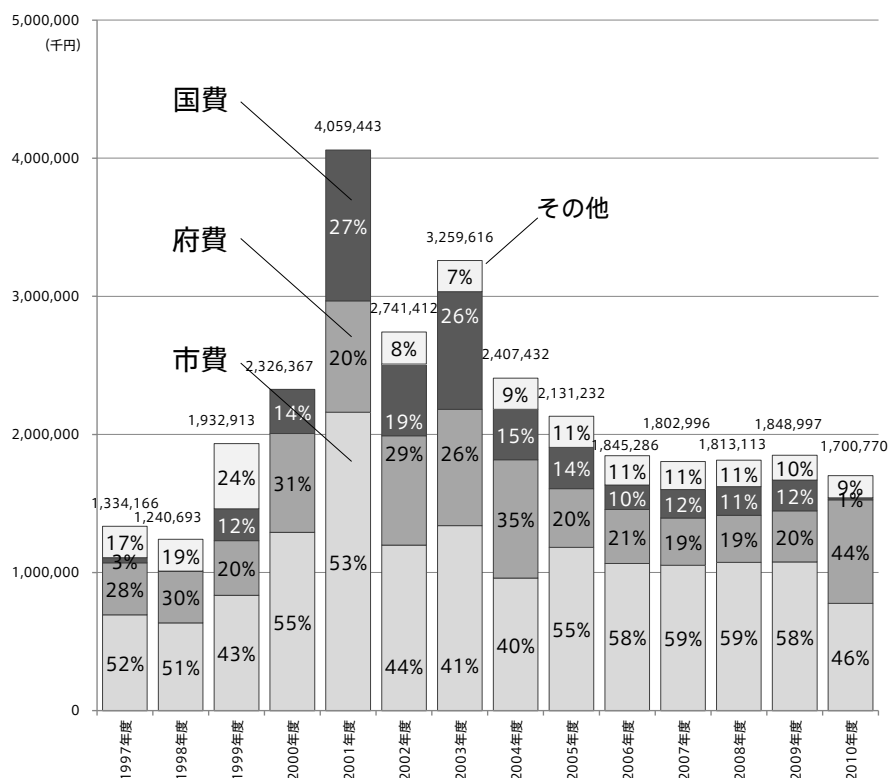


図 1-2-2a あいりん施策予算財源内訳の推移

※生活保護施設整備費等を含む
資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成

表 1-2-2b あいりん施策予算財源内訳の推移

単位：千円

年度	市費		府費		国費		その他		合計
1997	693,883	52%	376,902	52%	37,500	3%	225,881	17%	1,334,166
1998	635,255	51%	373,807	51%	500	0%	231,131	19%	1,240,693
1999	835,409	43%	395,663	43%	229,578	12%	472,263	24%	1,932,913
2000	1,290,433	55%	715,440	55%	320,494	14%	0	0%	2,326,367
2001	2,161,131	53%	805,770	53%	1,092,542	27%	0	0%	4,059,443
2002	1,198,720	44%	790,907	44%	520,654	19%	231,131	8%	2,741,412
2003	1,340,399	41%	840,765	41%	852,571	26%	225,881	7%	3,259,616
2004	960,000	40%	857,263	40%	364,288	15%	225,881	9%	2,407,432
2005	1,181,803	55%	426,199	55%	297,618	14%	225,612	11%	2,131,232
2006	1,066,126	58%	390,513	58%	176,867	10%	211,780	11%	1,845,286
2007	1,052,691	59%	342,175	59%	206,528	12%	201,602	11%	1,802,996
2008	1,074,280	59%	339,873	59%	208,164	11%	190,796	11%	1,813,113
2009	1,076,219	58%	371,025	58%	221,732	12%	180,021	10%	1,848,997
2010	776,883	46%	749,738	46%	13,989	1%	160,160	9%	1,700,770